医療安全管理室ニュース

No．10
2009年6月2日
医療安全管理室
編集／吉本・佐野

◆４月ケースカード／インシデント・アクシデントレポート◆

4月は、ケースカードが 307 件、インシデント･アクシデントレポートが 10 件でした。ご報告ありがとうございました。
インシデント･アクシデントレポートの件数はやや少なめでしたが、10 件中 7 件が何らかの処置や治療を必要とする事例で、そのうち 3 件が転倒転落によるものでした。
4月の概要は、以下の通りです。

発生部門	ケースカード	インシデント
2A	49	看護部 10
2B	17	
2C	11	
3A	18	
3B	41	
4A	35	
4B	61	
集中治療室	19	
中央手術材料室	6	
外来A	10	
外来B	6	
診療部	2	0
薬剤部	7	0
中央検査部	0	0
中央放射線部	1	0
栄養部	17	0
理学療法部	6	0
事務部	0	0
その他	1	0
計	307	10

事故レベル	ケースカード	インシデント
レベル０	43	0
レベル１	223	1
レベル２	31	2
レベル３ａ	6	6
レベル３ｂ	1	1
レベル４	0	0
レベル５	0	0
判定不能	7	0
計	311	10

レベル３ｂは、転倒による骨折の事例でした。
今年度より参加している医療事故情報収集等事業の報告対象となりますので、医療安全管理室より報告をしました。

事故の概要	ケースカード	インシデント
指示出し／指示受け	6	0
薬剤	72	2
輸血	3	0
治療･処置	20	1
医療用具	9	0
ドレーンチューブ	114	2
検査	16	0
療養上の世話	25	5
書類関係	12	0
その他	32	0
計	309	10

点滴漏れが 58 件（インシデント 1 件）

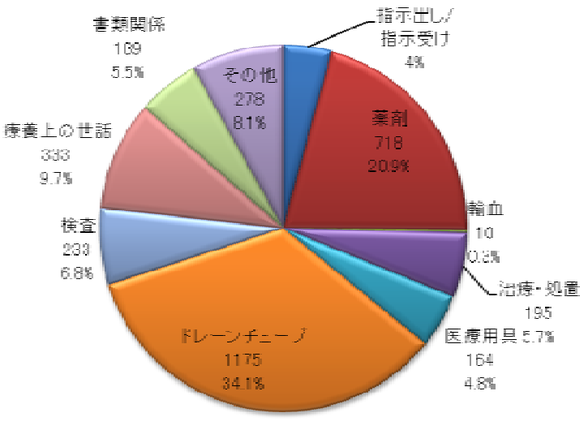
転倒転落が 17 件（インシデント 3 件）

※入力方法に間違いがあるため、ケースカードの合計数には誤差があります。

＊　＊　＊　＊　＊　＊

前回のニュースには載せていませんでしたが、平成 20 年度ケースカード報告の事故の概要の割合は図のようになっています（ケースカード総計 3412 件）。
図を見てわかるように、ドレーンチューブ関連が1175件と非常に多く報告されました。そのうち点滴漏れの 635 件、抜去関連の 397 件が大半を占めています。また、療養上の世話は333件ですが、そのうち199件が転倒･転落の事例となっており、半分以上を占めています。
上の表の４月分を見ても、ドレーンチューブ関連 114 件のうち 58 件が点滴漏れ、療養上の世話 25 件のうち 17 件が転倒･転落事例ですので、報告内容の傾向が同じであることが伺えます。
平成 20 年度インシデントレポートの報告（総計 181 件）も同様、やはりドレーンチューブ関連（49 件）や療養上の世話関連（27 件）の報告が多く、4 月の報告も例外ではないようです。

平成 20 年度ケースカード集計



◆◇◆◇インシデント・アクシデントレポートより◆◇◆◇

4月は、ステプティー長時間貼り付けによる皮膚剥離が続きました。昨年度も同様の事例が 3 件報告されています。
二時間以上貼り続けたり、テンションを掛けて貼ると皮膚剥離を起こす可能性があります。

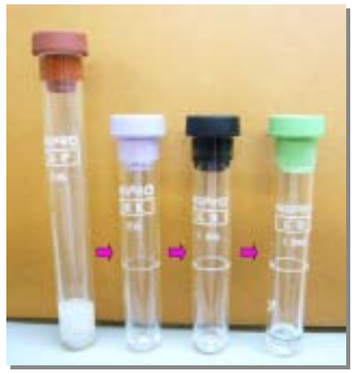
知っていましたか？
ステプティーは「2時間を目安に」
ステプティーP は「2時間以上は貼らない」
と、注意書きがしてあります！
また、テンションを掛けて
貼らないようにしましょう

静脈採血の正しい止血の方法はよく絞ったアルコール綿で5分間圧迫。動脈採血はしっかり押さえて3～5分で止血出来ると言われています。（出血傾向のある患者や抗凝固剤を内服している患者は20～30分の止血を行う）
貼ったままにせず、きちんと時間を見て、はがしましょう！！

ご存知ですか？採血管のこと。　中央検査部　大野さんより

最近、血液検査の際に用いる採血管の間違いが増えています。再確認の意味で、代表的な採血管の種類についてご説明します。

茶色ｷｬｯﾌﾟ	生化学、免疫検査用･･･凝固促進処理がしてあります。
紫色ｷｬｯﾌﾟ	血算、ｱﾝﾓﾆｱ用（2ml）と血型、ｸﾛｽﾏｯﾁ、BNP 用（5.5ml）･･･顆粒状の EDTA-２ｶﾘｳﾑにより抗凝固処理（固まらない）。
黒色ｷｬｯﾌﾟ	凝固検査用･･･抗凝固剤 3.8%ｸｴﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ液が１に対し血液が９の割合で入りますので必ず規定線まで採血して下さい。
黄緑ｷｬｯﾌﾟ	血沈用･･･抗凝固剤 3.8%ｸｴﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ液が１に対し血液が４の割合で入りますので必ず規定線まで採血して下さい。
灰色ｷｬｯﾌﾟ	血糖、ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ A1c 用･･･顆粒状のﾌｯ化ﾅﾄﾘｳﾑ、ﾍﾊﾟﾘﾝﾅﾄﾘｳﾑにより解糖阻止、抗凝固処理してあります。



※基本的には異なる採血管での検査共用はできません。

また、採血管には採る順番について以下の注意点があります。
①最初は何も入っていない茶色ｷｬｯﾌﾟから採る。
②抗凝固剤入り採血管は顆粒状から先に採る。
③凝固検査用黒色ｷｬｯﾌﾟは2本目以降に採る。

よって代表的な採り方は、
（茶）⇒（紫）⇒（黒）⇒（黄緑）　となります。

●○その他、特殊管につきましては中央検査部までお問い合わせ下さい。○●

5月28日の安全管理セミナー「周術期の肺血栓塞栓症予防」は出席者数67名でした。アンケートにもご協力いただき、ありがとうございました。
さて、アンケートの「静脈血栓塞栓症予防マニュアルを活用しているか」という設問に対し「存在を知らない」という答えが看護師から数件出ました。静脈血栓塞栓症予防マニュアルは「国際親善総合病院マニュアル集2」の「血栓」の項目の中に入っています！皆さん今一度、マニュアルのある場所の確認をしていただきたいと思います。

医療安全管理室ニュース

Ｎｏ．７
2009年3月31日
医療安全管理室
編集／吉本・佐野

◆2月ケースカード／インシデント・アクシデントレポート◆

2月は、ケースカードが 289 件、インシデントが 22 件でした。2月は診療部での血管外漏出の報告が多く出されました。ご報告ありがとうございます。平成20年度の集計結果は4月のニュースに載せたいと思います。

2月の概要は、以下の通りです。

発生部門	ケースカード	インシデント
2A	51	看護部　15
2B	14	
2C	12	
3A	12	
3B	26	
4A	29	
4B	53	
集中治療室	16	
中央手術材料室	11	
外来A	12	
外来B	13	
診療部	16	4
薬剤部	20	1
中央検査部	1	
中央放射線部		
栄養部	2	1
理学療法部	1	1
事務部	1	
その他	1	
計	291	22

事故レベル	ケースカード	インシデント
レベル0	48	
レベル1	177	2
レベル2	41	4
レベル3a	5	6
レベル3b	1	1
レベル4		
レベル5		
判定不能	17	9
計	289	22

事故の概要	ケースカード	インシデント
指示出し／指示受け	11	
薬剤	69	3
輸血		
治療･処置	11	2
医療用具	9	1
ドレーンチューブ	115	5
検査	18	
療養上の世話	30	5
書類関係	12	
その他	18	6
計	293	22

点滴漏れが 55 件（インシデント 4 件）

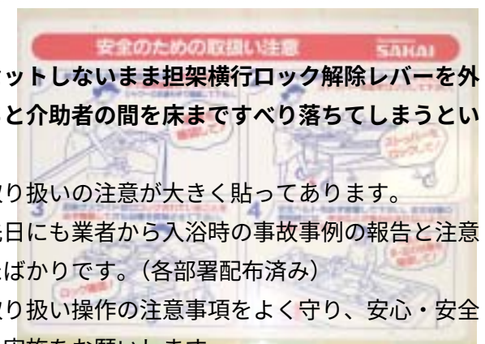
転倒転落が 17 件（インシデント 3 件）

※入力方法に間違いがあるため、ケースカードの合計数には誤差があります。

◆インシデント・アクシデントレポートより◆

特浴での介助時の事故

浴槽から患者さんを出す際に、特浴用ストレッチャーを浴槽にセットしないまま担架横行ロック解除レバーを外してしまったため、担架が患者を乗せたまま、浴槽の外側のふちと介助者の間を床まですべり落ちてしまうという事故がありました。



特浴室には取り扱いの注意が大きく貼ってあります。
また、つい先日にも業者から入浴時の事故事例の報告と注意文書が届いたばかりです。（各部署配布済み）
入浴時は、取り扱い操作の注意事項をよく守り、安心・安全な入浴介助の実施をお願いします。

しっかりロックしないとそのまま滑り落ちてしまいます

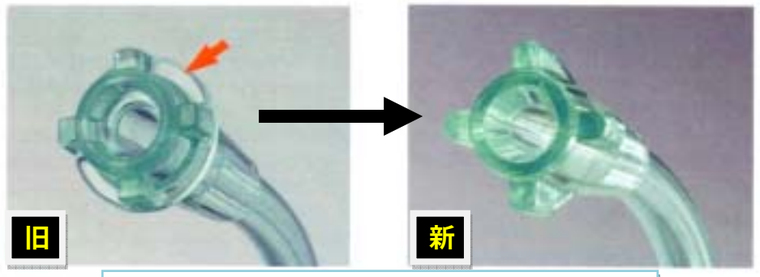
小林メディカルよりお知らせ

インスピロン　オキシジェンチューブ誤接続防止タイプの仕様が変更しました

[仕様変更点　詳細]

＊コネクター形状変更

従来のコネクターのリング部分（右図矢印部）を外し、コネクター部の厚みを減らすことでより柔らかくなり、加湿瓶へ接続しやすくなりました。



旧型の在庫が終了次第順次新しいものに変わります

検査室のトイレが変わりました

去年の夏ごろ、検査室のトイレで膝の悪い患者さんが立ち上がれなくなり、緊急ボタンも押すことが出来ず、1時間ほどトイレに閉じ込められてしまう事故がありました。以前から問題視されていたところでもあり、改善を依頼していましたが、先日工事が終わり、1部屋が洋式トイレに変わりました。

「さすまた」ってどんなもの？

院内暴力対策として、守衛室と救急外来にはさすまたが置かれるようになりました。

使用方法･･･【さすまたは最終的な手段としてお使い下さい。もし使用される場合、一人で立ち向かうことは**絶対におやめ下さい。**必ず大勢で対応しましょう。「大勢で対象となる人物を抑え、足を払うなどして取り押さえる。」と言う形態が最も基本的なさすまたの使用法です。もし余裕があれば逃げるか、近くのもの(机や椅子)を投げるのも手段の一つです。さすまたは確かな使い方を学び訓練を繰り返すことで、初めて効力を発揮します。さすまたは携わる人みんなで協力し積極的に扱い方について訓練しましょう。十分な訓練・練習・心の準備こそが**一番の備えであり防犯**です。（webサイトより引用）】

大切なのは捕まえることではなく、自分を守ることです。何か起きた時は、まず応援を呼び、一人では絶対に対応しないようにしましょう。

ひとこと

あっと言う間に新年度です。安全管理室の資料や書類が増える一方でファイルだらけになってきました。二人とも片付けが苦手なのでいつも「どこいった病」になります。新年度の目標は「5Ｓ（整理･整頓･清掃･清潔･習慣）」です。新年度のスタートを機に、病院全体で5Ｓの取り組みが出来ればいいなと思います。